

## タイで千葉大学の魅力を発信

### －西田副学長、マヒドン大学で特別基調講演－

西田副学長(国際担当)は、3月26日(木)に、タイのトップ大学であるマヒドン大学のインターナショナルカレッジ(MUIC)において特別基調講演を行いました。

これは、本学と交流の深い MUIC の創立 30 周年記念式典に西田副学長が招待され実現したもので、「New Era Of Liberal Arts Education in Japan – Chiba’s Challenge–」と題し、千葉大学が進める大学改革の取組について紹介しました。

特に、徳久学長のもとまとめられた将来展望「トリプルピークス」構想や、文部科学省のスーパーグローバル大学の選定を受けた「Rising Chiba University」構想に掲げた4つの改革、そして平成28年4月の開設をめざして先日文部科学省に設置認可申請を行った国立大学初の「国際教養学部」など、日本の高等教育改革をリードする千葉大学の魅力ある取組を披露し、MUICの4人の歴代学部長をはじめ多くの聴衆はとても熱心に聞き入っていました。

また、千葉大学では、グローバル人材育成の入門編として英語コミュニケーションとタイ文化を集中的に学ぶ体験型の短期留学「BOOTプログラム」をMUICと共同で開発し、これまでに約60名の学生が参加していますが、その風景を撮影したVTRを放映し、両大学の連携をアピールしました。

さらに、現在建設中のMUICの新校舎に、千葉大学の海外キャンパスを設置予定で、海外キャンパスを活用した双方の緊密な連携による交流の促進が、大学のグローバル化に資する優れた取組として注目を集めています。



特別基調講演を行う西田副学長



(左より) 西田副学長、Serene 元学部長、Phitaya 学部長、Chariya 元学部長、Rassamidara 元学部長